

# 井崎敦子の市会だより



## はじめての 決算審議！

昨年を通して議会や  
委員会で発言してきたこと、  
思うことなどをお伝えします。



## 常任委員会

常任委員会とは（毎月2回開催）

議員が分野別のグループに分かれ、市の様々な事業や取組等について詳しく丁寧に議論を行うために設置されるもので、京都市会には5つの常任委員会があります。

私は今年度は「まちづくり委員」に振り分けられました。「都市計画局」と「建設局」が担当部局です。部局から出てくる議案の審議や、2つの部局にまつわる市民の皆さんからの請願や陳情の審議をします。

一般質問では議案と関係ないことも質問できます。議員が調査をして疑問の思ったことを質問したり、市民の方々の声を市の担当部局に伝える場でもあります。質問することにより、市の方針を確認したり、時には軌道修正を求めたりすることになります。

各委員会とそれぞれが扱うテーマ

- ・総務消防委員会(定数13人)  
市の計画、財政、税金、防災、消防など
- ・環境福祉委員会(定数13人)  
環境、こみ、福祉、医療など
- ・文教はぐくみ委員会(定数14人)  
文化、スポーツ、市民生活、子育て、教育など
- ・まちづくり委員会(定数14人)  
まちづくり、道路、公園など
- ・産業交通水道委員会(定数13人)  
観光、商工業、農業、市バス、地下鉄、水道、下水道など



\*常任委員会はYouTubeで中継され、アーカイブも見ることができます。  
<https://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/iinkai/R05/machi.html>



こんな質問をしました

### Q 養正団地再生計画について

団地にお住まいの方から「新棟の間取りが狭すぎる」などの請願が出されている。住民の声を元に計画すべきではないか。

▼A 国の基準では単身世帯では25平方メートル以上、二人の世帯では30平方メートル以上という規定だが、本市では最も小さな住戸でも35平方メートル以上。35平方メートル、45平方メートルの標準仕様に基づいて必要な面積を確保している。



### Q 自転車撤去問題について

「自転車撤去が乱暴すぎる」「子どもと外出して公衆トイレに入ったときに全部持って行かれ、子連れで保管所まで取りに行き、とても困った」「そもそも駐輪場が少なすぎる」など多くの方からご意見をいただいている。子ども連れやご高齢の方、体の不自由な方などへの一定の配慮(例えば認証マークなど)を検討すべきではないか。

▼A 現在、撤去中に発見された場合は、その場で無償返還している。撤去してほしいとのご要望が現在も多い。放置自転車の多い駅、繁華街など、各場所の特性に応じたきめ細やかな駐輪場の整備が必要。助成事業や道路占用許可などにより民間事業者の整備を支援しているところ。放置自転車の分布、撤去台数、稼働率を見ながら小規模分散型の駐輪場の整備を行っていく。

▼A 中高層条例に基づき近隣の方々の御意見を踏まえてしっかりと対応、配慮するように事業者に求めていく。

### Q 松ヶ崎の大規模マンション計画について

5階建ての大規模マンション計画に対し、松ヶ崎の住民の方々が地元住環境に配慮した計画変更を求め平行線になっている。住民の皆さんの声をお聞きしながら京都市としてこの問題の解決に積極的に取り組んでほしい。



議会中継アーカイブから  
該当部分の質問と答弁の  
様様をご覧ください



決算特別委員会とは  
(9・10月開催)

67名の議員が、京都市の14の局と会計室、教育委員会、公営企業(上下水道局と交通局)を3つの分科会に振り分けられ、令和4年度の事業とその決算について、市の財政運営について適切であったかどうかを、それぞれ担当部局に質問をします。

議員一人の持ち時間は15分。それを各会派の人数で掛けたものが会派の持ち時間になります。私の担当は第3分科会「産業観光局、上下水道局、交通局」でした。



(交通局への質問)

京都駅には下りエスカレーターゼロ、地下鉄の駅でも大変少ない。なぜ少ないのか？バスの混雑緩和のために地下鉄誘導しているのでエスカレーターの完備が必要では？

▼A 費用的にも物理的にも設置が難しい現状。



▼質問に先立ち、福祉施設や車椅子ご利用の方にヒアリングのご協力を

いただきました。「地下鉄とバスの乗り継ぎが大変。バスの停車位置をもう少し地下鉄駅から便利なおところにしてほしい」／「地下鉄構内のエレベーターが1箇所しかないところが多い。ホームに2箇所くらいあると助かる」／「地下構内、エレベーターの場所などの表示がわかりにくい。ガイドの人と行動する視覚障害の方の場合もわかりにくいのでガイドも困っている。海外からの観光客が困っているのも時々見る。グラフィカルな表示が誰にとつてもわかりやすいのではないか」／「信号の音声サインは夜になると切られてしまう。20時くらいに終わってしまうところもある。視覚障害者にとっては、せめて駅周辺の音声サインはもうちょっと遅くまで鳴らしてほしい」／「高齢者や足に障害がある場合は階段はむしろ降りるほうが危ない。京都の地下鉄の駅は下りエスカレーターがないところがほとんど。海外からの観光客も大きなスーツケースを抱えて階段を降りていて危険だと思っ

災害時の水源確保  
ヒアリング

(上下水道局への質問)

京都は水道は琵琶湖から引いた水で、滋賀県に2億円の感謝金を払っている。その方が地下水から水を引くより安価に水源確保ができていくというのだが、市内では現在も地下水を使っている事業者やお店も多い。大規模

災害などが発生し、水道管が損傷した場合など水をどこから供給するのか？現在、井戸のある市民のご協力で防災井戸登録をしているが公的に地下水(井戸)利用がない↓防災の観点からも利用検討してはどうか(神戸市の例を参考にしました)。

▼A 応急給水槽を5箇所、仮説給水槽を6箇所整備。給水車11台。熊本の例で言うと80台必要なので、大都市間での応援協定を取り決めている。日本水道協会でも応援の枠組みがある。飲料水兼用型の耐震性貯水槽を市内12箇所に設置している。防災訓練の際に地域連携の取り組みをしている。

個人事業主の支援  
ヒアリング

(産業観光局への質問)

京都市は製造業、不動産業に次いで卸・小売業の比率が高い。多様な個人商店は市民生活に最も密着しており、観光産業にとって大切な財産。平成28年から令和3年までで卸・小売業は2万軒以上減少し、従事者数は約1万人減となっている。令和6年度も引き続き支援が必要。販路の拡大や家賃支援補助、申請

の手間の軽減など、対象条件を現実的に即して修正していくことも大切ではないか。

▼A 次年度どうしていくかは未定だが、今年度の様々な取り組みから有効性を確認した上で検討したい。



▼質問に先立ち、市内20軒の個人事業主の皆さんに京都市の中小、個人商店、フリーランス支援※1についてヒアリングしました。「個人事業主の支援って自ら調べる必要があるのだからけど、私みたいに書類に疎い人間は諦めがち」／「仕事をオンライン化して以降、契約の時にまとめて支払いをもらう形が多くて、たくさん入る月もあれば、全然売上げない月もある。前年度との売上げの比較は月単位でできないときもあり、手続きする手間を考えると次の契約を取るための行動に時間使った方がお得じゃないか？」と検討もせずスルーしてしまう」／「同じく30%減の基準を満たさなかった。売上げが増えても経費が増えたら利益は無い。売上げの減少だけを基準に決めるのはどうか。手続きが煩雑になるのも困る」

※1 中小企業等総合支援補助金(法人10万、個人5万)／中小企業等物価高騰対策支援金(法人5万、個人3万)、追加支援は(3万、2万)



その公共事業、本当に必要？予算は妥当？

上下水道局や交通局は、地方公営企業法によって独立採算性が基本とされています。水道局は節水が進む中で赤字となり、SDGsの観点からは歓迎されるべきものなのに、その中で大変な経営努力をされています。交通局もコロナで利用が減り、同様の努力を求められています。上下水道事業や公共交通にはしっかり税金を投入して支えるべきではないでしょうか。決算委員会では人口減で動き手不足を生んでいるという議論も盛んですが、人口が減る中で私たちはどのような社会でどんな暮らしをしたいか？成長社会前提では回りきらなくなっている現実について、「公共が民間か

ではなく「公共も民間も」役割を再確認し、自分の町の具体的な収支を見ながら未来の公共のあり方を市民参加で話し合っていく必要があると感じます。たとえば、産業観光局の事業で国庫支出金を使った「中小企業等総合支援補助金」の予算は17億2900万円。実績(決算額)は17億1300万円。予算額は妥当か？市民に役立っているか？産業観光局の「グリーンイノベーション創出総合支援プロジェクト」は予算決算とも2780万円。どんな企業を支援しているのだろうか？新しい技術革新は必要ですが、公共で支えるべきことは何か？見極めるのもまた市民だと思います。

井崎の視点

自分たちの払っている税金の使い道をぜひチェックしてみてください

【本会議、予算・決算特別委員会(総括質疑)の中継・アーカイブ】  
<https://gikai.congress-streamsp.jp/KyotoCityCong/kousin0.asp>



決算特別委員会  
市長総括質疑とは

(10月19・20日)

本会議場で議員が令和4年度決算について市長に直接質問する機会です。各会派から代表数名の方が市長に質問をします。

Q 環境に配慮した  
国際基準の  
まちづくりに関して

(市長への質問)

京都市は現在新たなまちづくりに力を注ぎ、都市計画を変更し、オフィスラポ誘導エリアを整備し企業誘致補助金はとても手厚く充実した内容になっている。一方、全国に先駆けて2050年CO2排出量正味ゼロを宣言し地球温暖化対策、循環型社会への転換に力を注いでいる。新たな町づくりにあたる京都サウスベクトルや洛南進都地域では、他都市に先駆けた脱炭素、気候危機対策への取り組み、具体的にはZEB建築など環境配慮型建築の推進を図る絶好の機会となる。



快適なまちづくりは人口減少の歯止めにもつながるのではないかと補助金を使って新たに建設されるオフィスや工場は、どの程度、環境に配慮したものになるか？産業観光局ではグリーンイノベーション企業やベンチャー企業への支援に力を入れているが、新たな産業や技術はリスクも伴う場合もあり、それが市民を巻き込む公害問題に発展してきた歴史を持つ日本においては企業支援の選考過程で環境問題に見識のある市民のご意見も活用すべきではないか？

▼A 企業立地促進については、ものづくり産業、ITCなどに力を入れている。事業者がSDGSにとりくんでいるかを審査している。新たな建築については温暖化対策を市の基準に基づいて配慮している。



井崎の視点

都市計画について、十分市民の声が活かされているか。高さ規制や容積率の緩和を進めるにあたり、「開発、企業誘致、発展」という価値観だけではない選択肢の議論が必要ではないか？人口減少や縮小社会がマイナス面だけで語られることこそ、むしろマイナスでは？そんな思いで質問をしました。



この間紹介議員となった請願をご紹介します。

- 健康保険証廃止の撤回の要請 ※本会議で討論(左記ご参照ください)
- インボイス制度の実施延期の要請
- 敬老乗車証制度の交付基準の見直し
- 養正市営住宅団地再生計画の見直し等
- 市営聚楽保育園の存続
- 地域住民が集える場としての本松賀茂公園予定地の活用
- 住民の要望に沿った東部クリーンセンター跡地利用の検討等
- ケア労働者の賃金改善及び人員増に向けた診療報酬等の引上げの要請
- 18歳から39歳までの若年がん患者への在宅療養支援助成事業の早期実現



マイナンバー法に伴う  
健康保険証廃止の撤回を  
要請しました。

(本会議で討論した内容抜粋)

2024年秋には改正マイナンバー法に伴い、健康保険証が廃止される予定です。しかし、マイナ保険証において他者の情報登録や公金受取口座の誤登録が多く発生し、個人情報保護委員会はデジタル庁を行政指導しました。マイナ保険証の導入により、病院での手続きが煩雑になっている

現状もあります。4月以降、病院ではマイナ保険以外の保険証利用者に対しては、システム基盤整備充実費として10円から30円の加算が行われています。現時点では大変信頼性の低いシステムを利用しないとデメリットがある状況は民主的と言えるのでしょうか。

G7諸国には、マイナンバーカードのような国民IDと、健康保険証を一体化させている国はありません。これはIDで一括管理されることに対し抵抗がある国民世論を反映している結果ではないでしょうか。データ主権を大切にしたい分散型のエコシステムについての議論も進んでいます。これらの自治体の姿勢は大変参考になると考えます。

これらは本会議で否決されましたが、その後、議会からの意見書として政府に提出されたものもあります。請願や意見書一覧はこちらをご覧ください。

【審議日程・結果等 | 京都市会】  
<https://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/honkaigi/R05/kekka.html>



市民が公共施設をもっと使いやすくするには？ — 指定管理者制度について

京都市では現在、800の公共施設のうち373施設に指定管理者制度を導入しています。議会でも、指定管理者制度については賛否の分かれるところです。市のHPによると、「指定管理者制度は、住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設である「公の施設」について、民間事業者等が有するノウハウを活用することにより、住民サービスの質の向上を図っていくこと」と謳われています。私は去年、仲間とある公園をお借りしてマーケットを開催したのですが、その時に「ちょっと不便だな」と感じるがありました。

お客様も出店者さんも主催者も市民、誰にとっても便利で快適な場所であってほしいという思いで市の担当部局や指定管理業者さんとお話しする機会をいただきました。指定管理者制度すべてに反対する立場ではありませんが、どんな仕事を民間委託するか、委託先の企業には適正価格が支払われているかについて精査する必要があると思っています。そして委託後も日々の運営について、住民の声を聞いて市民にとってより快適な運営をしてもらうための住民目線の仕組みが必要だと感じています。



井崎の視点



議員に相談ってどんなふう？

お問い合わせ

info@izaki-atsuko.net

075-204-6369

市民の声を  
届けます！

ご意見・ご相談など  
お気軽にメールやFAXで  
お問い合わせください

市民の方からのご相談を受け、左京土木みどり事務所  
さんが動いてくださり、川端通り高野交差点上がるの歩  
道に街灯が増えました。歩道の整備もしていただきました。



ご相談いただくことで

議員自身も大変勉強になります。

すぐには解決できないこともあります  
が  
根気よく動いてまいります。

この間のご意見・ご相談

- 美術館運営やアーティストのサポート体制について
- 林業への助成制度について
- ケアラー支援に関する条例について など

草の根プロジェクトでは  
定期的に議会報告会や  
タウンミーティングを  
開催しています。



この間の主な活動

議会報告会 | 6/10、11/11

タウンミーティング

- ・ 自転車問題について | 10/30、11/18、12/7(市政出前トーク)、1/10
- ・ ひとりでも愉快にいきていく | 10/8(働き方編)、12/28(結婚編)
- ・ パートナーシップ制度とファミリーシップ制度 | 11/12
- ・ 外国ルーツの方々が京都に移り住むことになった背景について | 12/5

その他

- ・ 上映会「ワタシタチハニンゲンダ！」 | 9/15(堺町画廊)、16(キッチンハリナ、地塩堂)
- ・ 「マイクロカプセル香料などの長続き製法をやめてください」の署名提出(全国) | 1/22
- ・ ガザ支援チャリティーフリーマーケット | 12/23

鳥羽水環境保全センター見学報告

京都市の下水(汚水、雨水)の約7割を処理している南区上鳥羽の下水処理施設を見学しました。西日本で最大規模の約14万坪(東京ディズニーランドぐらい)ある敷地に1ヶ月9000万円超の電気代がかかる巨大な設備があります。工程は大まかにいうとゴミや土砂を取り除いた汚水をポンプで汲み上げ、微生物の力を利用して窒素やリンを除去した汚泥を濃縮し、微生物の力でメタンガス化して再利用し、残りは脱水焼却して焼却灰にして埋め立て処分されます。今後の課題は、施設の老朽化と電気代の高騰、団塊世代の退職に伴う技術力の継承。太陽光発電や汚泥を再利用した再生エネルギーを利用するなど多大な努力をされています。京都市で暮らす人の下水の大半が集まり、気候変動に伴う集中豪雨もそれに加わる中で、日々の職員さんたちの緊張感や労力は非常に大きいものだと感じました。



発行： 井崎敦子事務所  
左京区一乗寺中ノ田町 26-2 (辻公園向かい側)

井崎敦子の市会だより 第2号 2024年2月22日発行 テキスト：井崎敦子 イラスト：たにあいこ デザイン：美馬 智 編集：竹添友美

事務所にゆると開催中！  
お気軽にご参加ください！



寺子屋・自習スペース  
草の根やわらび堂  
太極拳気功・算数  
書を楽しむ会

要予約

お問い合わせください。  
開催日時等、詳細についてはSNSでもお知らせしています。

@井崎敦子事務所 左京区一乗寺中ノ田町26-2 (辻公園向かい側)

タウンミーティングは毎月のように開催して  
います。HPやSNSをご覧ください  
ご興味ある会にはお気軽にご参加ください。

京都市議員 井崎敦子公式サイト  
https://izaki-atsuko.net



SNSでも情報発信中！ぜひフォローしてください

facebook : 井崎敦子と草の根プロジェクト  
instagram : @atsuko\_izaki  
x(旧Twitter) : @kusanoneproject  
youtube : @Kusanoneproject

